

銀行業務検定とは

「銀行業務検定協会」が主催する検定試験で、都銀、信託銀行、信金、生損保などの職員が年間30万人も受験する資格です。

昇進の要件となっている企業が多いため、30万人の受験者の多くは日々切実な思いで勉強していますが、対象業界が限定されているため、世間での知名度はきわめて低く、結果、勉強方法の情報も極めて限られています。

当HPでは、最新の傾向・難易度をふまえて、効率的に合格点を取れる勉強方法をお伝えします。

銀行業務検定の重要性

昇進要件としている銀行が非常に多い

多くの銀行・金融機関で銀行業務検定は昇進の必須要件とされており、合格しないと最低限の役職（主任クラス）に昇進できません。ある意味、簿記や宅建、中小企業診断士よりも重い位置づけにあります。

人事考課において重視されている

銀行では、大量の行員を横並びで評価する必要がある一方で、人間の成果・能力・頑張りというのは、なかなか歴然とした差が見えにくいものです。そのため、皆が納得いく評価基準として、客観的な「資格」を非常に重視します。

[続きを読む](#)